

わたしの 歩んだ道

あゆ みち
藤井陽也さん



〈プロフィール〉

春日井市出身。市内のクラブチームを経て、今年、名古屋グランパスのトップチームに昇格。187cmの長身を生かし、ディフェンスのセンターバックとして今後の活躍が期待される。背番号34。

東海東京証券

兄の影響で始めたサッカー

サッカーを始めたのは5歳の時。兄が春日井のクラブチーム「エニックス」に入っていたことがきっかけで始めました。その後、6歳で市内のグランパスのサッカースクールに入り、選抜チームにも選ばれ、名古屋グランパスU-12に入りました。

小学4年生からディフェンダーに

始めはいろいろなポジションでプ

こども広報春日井 令和元年夏号（7月発行）

レーしていました。小学4年生の時に正式にディフェンダーになりました。ディフェンダーの魅力は、相手からボールを奪ったり、ゴール前で失点を防いだりしたときの達成感。点を取ることが好きなので、守備で貢献することも、セットプレーで得点を取り、皆で勝利を喜び合いたいと思っています。モブレーしています。

骨折を乗り越え、トップチームに昇格

高校3年生の夏に足を骨折し、半年間練習できない期間がありました。トップチームへの昇格が懸かった大事な時期だったので、とてもショックで、昇格を諦めかけました。しかし、気持ちを切り替え、その時にしかできない体作りに必死に取り組む、見事、昇格することができました。この時のけが

があったから、心身共により成長することができ、けがをしないことの大切さも改めて学びました。

同期と日々、切磋琢磨

今年、トップチームに昇格したのは僕を含め3人。例年は1人や2人が、誰も選ばれない年もあるほど昇格は「狭き門」。3人ともポジションは違いますが、レギュラー定着を目指して、日々、練習で技術を磨いています。

目標は先輩の吉田麻也選手

吉田選手は同じグランパス出身のディフェンダーで、海外や日本代表でも活躍し、守備だけでなく点も取れる、まさに見本となる選手です。僕もこれから経験を積んでトップチームで活躍し、いずれは海外や代表でも活躍できる選手になりたいです。



春日井市は思い出がいっぱいのまち

僕が住んでいた場所はとても自然が多く、いつもその中で遊んでいました。また、市外の高校に通うまでは、毎年友達とシャトルバスに乗って春日井まつりや納涼まつりに行っていました。その友達とは今でも大の仲良しです。春日井市は大好きなまちです。

ゆめ 夢をかなえるために

大事なのは、何をしてもまずは「楽しむ」こと。楽しみ続けるためには努力が必要になりますし、その努力が成長につながると思います。そして、常に100%の力で練習すること。モチベーションが上がらないときもあると思いますが、常に全力で取り組むことで、それがきっと本番に生きてくると思います。

